

本日 (9月13日(金)) 第105回定期中央大会

13:45 から 東海村 真崎コミュニティセンター 会議室

本日は、原研労組の定期中央大会です。1年間の活動をふりかえり、今後の活動方針を議論します。

2011年3月の福島第一原発の事故後、福島対応等で職場での仕事が大変になるなか、昨年7月には「賃金削減特例措置」として大幅な給与削減が強行され、我々は時限ストライキで抗議しました。さらに、前年度の人事院勧告で示された給与の平均0.2%マイナスが4月に遡って実施され、私たちの家計を苦しめています。そのうえ、機構は追い打ちをかけるように退職金の大幅な削減を提案してきました。職場での士気は下がる一方です。このような時、「もんじゅ」、「J-PARC」の不祥事で理事長が交代し、原子力機構改革本部が文科省に設置され、この8月に「基本方向」が提示されました。「安全を最優先とした組織」へ改革するとして機構の解体がほのめかされています。機構の職員はまさに「お先真っ暗」の状態勤務している状況です。このような時期に第105回定期中央大会が開催されます。大会では職場からの声をもとに、議論を深めましょう。大会代議員以外の方もご注目下さい。

分会などで出された意見など:

- ◇ 給与削減は、本当にきつい。子供が学生で、学費がかかるうえ、大きくなって、税控除も減るので、きつい。
- ◇ 給与削減終了の見通しはどうか？ 今年度で終わるのか？
- ◇ 機構改革が「もんじゅ」中心に進められようとしているが、原子力機構と「もんじゅ」が共倒れになる恐れがある。「もんじゅ」をやるなら、徹底的に調査・検討してから方針を決めるべきだ。

- ◇ 機構全体で、50人ほどが「もんじゅ」強化のためにかき集められるとのうわさがあるが？
- ◇ 職員住宅削減はどうなるのか、緊急参集のことを考えれば、職場近くの住宅はできるだけ残し、水戸の住宅を先に売ったらよい。
- ◇ 長堀に作っている本部とか言っている建物、いったい何に使うのか？ いろいろ作ると維持費が必要になり、それを捻出するために、研究施設などの維持費削減が強まるのではないか？
- ◇ 退職金削減が強行実施されたら裁判闘争になるのか。闘争資金はどのくらいあるのか。

大会スローガン案

- 一、 原子力平和利用三原則を厳守させよう
- 一、 給与削減の特例措置を直ちにやめさせよう
- 一、 退職金の大幅削減は許さないぞ
- 一、 原発災害、地震災害を口実にした給与削減や消費税増税を撤回させよう
- 一、 組合の存在意義を語り、組織強化を図りつつ活力ある労働組合をつくろう
- 一、 福島原発事故を正面から見つめ、国民の負託に応えていこう
- 一、 「もんじゅ」と心中はしないぞ

給与の大幅削減特例措置を直ちにやめろ !!!